

私たちは「フローリア美翔」が紡ぐ“人が人を思いやる気持ち”を一人ひとりに伝えていきます。

ぬくもり

—— 温もりのお手伝い、お見送り ——

シリーズ [つながり]

一に原料、二に技術、三に作る人の心。
梅屋常五郎には、今もその教えが息づく。

Vol.5

こころをつなぐ
「ぬくもり通信」

あ た た か い ・ し ご と ・ ひ と ・ こ こ ろ

地域に支えられて12年

中能登で「フローリア美翔鹿南」としてオープンしてから、おかげさまで今年5月に12周年を迎えることとなります。

地域の方々に支えられてフローリア美翔の歴史があります。このことを忘れずに今後もつながりを大切に、「ぬくもり」を通じてお客様の利便性やニーズにお応えしていく努力を続けていきます。



地域にお住まいのみなさまには今後とも『地域に愛される会社／フローリア』と一緒に作っていく仲間になっていただきたい…そう思います。

株式会社フローリア
代表取締役 谷口 順子

正社員さんを募集しています。

- ・ひとと話をすることが
そんなに苦手ではない人。
- ・ひとに「ありがとう」を
言ってもらうのが好きな人。
- ・ひとに「ぬくもり」を
伝えたいと思っている人。

一度、フローリアまで
気軽にお問い合わせください。
話を聞くだけでも大丈夫です。

お問い合わせは

お電話



0767
53-8887

メール



floria70@
topaz.ocn.ne.jp

FAX



0767
53-8890

どんなことでもお話しください(24時間お問い合わせできます)


FLORIA
BISHO
MEMORIAL PLAZA
www.floria.co.jp/

フローリア美翔 七尾
〒926-0852 七尾市小島町 6-8-1

フローリア美翔 鹿南
〒929-1721 鹿島郡中能登町井田 29-5-1

フローリア美翔 白馬
営業所
〒926-0828 七尾市白馬町 14-12

一に原料、二に技術、三に作る人の心。 本店工場には、今もその教えが息づく。

七尾・作事町。どっしり構えた本店の奥の扉を開けると、そこには心地よい緊張感と甘い香気を放つ「御菓子司 梅屋常五郎」の創作の現場がありました。初代常五郎から連綿と続く三つの教えは今もなお変わることなく、ひとの手によって守られています。



お菓子の表情は 毎日変わるんです。

お菓子は毎日、その表情が違います。お菓子が変えるはずもなく、作り手の気持ちの入れ方によって左右されます。怒りながら材料を練ればツンとしたカタチになるし、寂しい心で調合すると、そのまま色に出ます。「ぬくもり」を込めるといってはなかなか難しいですが、平常心でお客様の笑顔を想像しながら想いを込めて、つくってききました。

じいちゃんから 言われたことを

24歳でこの世界に入り、三代目としてがむしゃらに突っ走ってきた34年間でした。その間、ずっと大事にしてきたことが、初代・常五郎が守り続けろと言いつ残した、仕事への姿勢でした。原料を大切に、技術を磨き、ころを込めて造る。単純なようで、その言葉の意味は深いと、今も感じています。

特に、最後の「ころを込めて造る」という部分は、マニュアル化という世界ではなく、気持ちとそのまます先の微妙な感覚にまで出てまいります。未だ道半ばというところです。

お菓子が 真ん中にある風景

先日、お嫁さんをお願いに行くので、というご注文をいただきました。鶴亀をあしらいい、切れないままある意匠(デザイン)を施した上生菓子を納めさせていただきますました。お菓子があって、ひとが集まる。そしてそこに、ひとのふれあいができ、会話が弾みつながりが生まれます。この上なく嬉しい情景です。



能登の、七尾の 老舗として

過疎化が進行する中で、何もしないでこの現状を見ている事はできません。能登を元気にするために、能登を、七尾を仕事を通して発信していくことが必要だと思えます。そういう意味では地元根差したフローリアさんの姿勢と共感できることがあると思います。お菓子の素材をはじめとし

て、能登の自然、食材、文化、風習。私たちが守り、次世代につなぐことが、この地で仕事をさせていただく企業の使命だと思えます。



飾ること、飾らないこと。



御菓子司 梅屋常五郎
宮川 晴行 みやかわ・はるゆき
お菓子は形、色、色つやなど見た目が肝心です。飾ることを許される世界に生きているからこそ、人間的には本質や原理原則をしっかりとわきまえ、飾り気なく、正直な生き方をしたいと思っています。

質実剛健



御菓子司
梅屋常五郎 本店

七尾市作事町(中央ビル向い)
電話0767(53)0787